



QRコード

ななサポ



Vol.34
2023年12月

越谷市市民活動支援センターの愛称〈ななサポこしがや〉は、

- 活動の拠点 ●交流の場 ●市民活動の相談 ●学習の支援
- 情報収集と提供 ●文化の向上 ●観光・物産情報の提供

市民活動への7つのサポートを表しています

発行：越谷市市民活動支援センター 住所：埼玉県越谷市弥生町16-1越谷ツインシティBシティ4階、5階
 URL: <https://koshigaya-activity-support.info> Eメール: info@koshigaya-activity-support.info
 市民活動支援センター／TEL 048-969-2750・FAX 048-969-2751 中央図書室／TEL 048-969-1800
 利用時間：午前9時～午後9時30分（図書室 午前9時30分～）休所日：年末年始（図書室のみ休室日別途有）



▲Team ATLAS

人と出会う。
 思いがつながる。
 新しい力になる。



▲越ヶ谷宿で古典にふれよう会



▲Ohana Kuu Lei Aloha



▲NPO法人ファミリーリンク越谷



▲埼玉東萌美容専門学校



▲はかり屋入口

「旧日光街道・越ヶ谷宿を考える会」は、越ヶ谷宿の蔵や古民家の修繕方法や活用を考える活動やまち歩きイベントで地域と人をつなぎ、越ヶ谷宿の活性化に取り組んでいます。

また、CAFE803は、越谷の情報を発信するカフェで、旧日光街道にあり、町のにぎわいに寄与しています。

(2・3面)

今号のテーマは、「つながる」です。



▲CAFE803外観



▲はかり屋内shop
お茶を贈る人

▼しあわせのたねプロジェクト
「Acha Acha」



▲CAFE803店内

今年のななサポまつりの副題は「つながる、みつかる、ななサポ」でした。

ななサポまつりで、良い出会いがありましたか。何かを見つけたことはできましたか。

コロナ禍を経験したからこそ、人とのつながり、地域とのつながりをより大切に感じている人も多いのではないのでしょうか。(4面)

旧日光街道。越ヶ谷宿を考える会



▲五街道のひとつである日光街道3番目の宿場町「越ヶ谷宿」その面影を残す旧大野邸「はかり屋」 2019年、国の登録有形文化財に登録



▲「人と人の出会いやつながりが原動力」と語る代表の畔上さん



▲はかり屋inshop お茶を贈る人



▲まち歩きガイドツアーガイドの安田さん

お問い合わせ先 旧日光街道・越ヶ谷宿を考える会 E-mail:koshigayaposttown@gmail.com X:https://twitter.com/koshigayajyuku

中央図書室より所蔵本のご案内 『旧日光街道・越ヶ谷宿 まちづくりのよすが』 早稲田大学 建築・まちづくりリサーチ・ファクトリー / 制作協力 ポラスグループ... 『まちづくりの非常識な教科書』 吉川美貴 / 出版社 主婦の友社

しあわせのたねプロジェクト

人間が生活していくにあたり、人や地域との「つながり」は必要不可欠です。今回は「つながり」をキーワードに越ヶ谷市の人たちが幸せを感じられる「まち」になることを目指し、様々なイベントを企画運営している「しあわせのたねプロジェクト」代表の小菅祐加さんにお話を伺いました。

Acha Achaを 通した「つながり」

小菅さんの活動の原点は、安全な食を子どもたちに提供できる仕組みを残していきたいという思いです。そこで、土づくりにこだわり、農業を抑えて作物を作っている有機農家さんたちとつながりを築き、家族向けに種まきなどの農業体験を行ってきました。そしてさらなる広がり求めて、越ヶ谷駅前などでマルシェ(通称Acha Acha)を開催するようになりまし。



▲「Acha Acha」開催風景 越ヶ谷駅前ロータリーにて実施 Achaはインドの言葉で「いいね」という意味



▲子どもたちに大切なものを残していきたいと話す小菅さん

費用もない状態でした。それでも趣旨に賛同した仲間が徐々に集まり、出店者や来場者は回を重ねるごとに増加していききました。「思っているだけでは形にならないが、何かを始めれば形になる」と感じました。小菅さん、小菅さんはマルシェに出店希望の方と面談を行い、意図に合っているかなど一人一人確認をします。本気で人とつながっていくことで、同じ思いを持っている他の人を紹介してもらえるようになりまし。このようない「つながり」から Acha Acha は発展していきまし。

旧日光街道 越ヶ谷宿との「つながり」

小菅さんは今も残る旧日光街道沿いにある古民家のお店を大切に思っています。越ヶ谷宿で開催されている雑沓りを通じて、旧日光街道・越ヶ谷宿を考える会の活動を知りました。小菅さんは考える会の活動に共感し、古民家の軒先を借りてポップアップ出店をする「軒先ショップ」を企画しました。この企画は Acha Achaでのテスト出店を踏まえ、展開したものです。お互いの強みを生か



お問い合わせ先 しあわせのたねプロジェクト H P:https://tanepurolife.wix.com/home



▲「Acha Acha」開催風景 皆さんの笑顔が広がっています

した活動が、築100年以上の古民家の持つ建築的な魅力と共に、人が暮らしてきた証であるまちの資産や資源を後世に残していく一助となることを小菅さんは願っています。 子どもたちが住み続け たくなる「まち」を目指して

「愛と感謝とよろこびと自由な発想で「まち」をつくる。それを実現するためには今できる最良の選択を実行するだけです」 越ヶ谷市が子どもたちも住み続けたいなまちであり続けることが、周辺の地域にも必ず影響し、相乗効果を伴ってその先へと伝播していきます。 まちで地域のオーガニック野菜を見かけたら手に取り食べてみてください。その一口が、地域の人、コト、モノをつなぎ未来へ可能性を広げます。

観光物産情報 『CAFÉ803』

旧日光街道・越ヶ谷宿にある、オシャレなたずまいが目玉のCAFÉ803。2023年12月で7周年を迎えます。店長の井橋由美さんにお話を伺いました。 「やってみたい」を大切に

店内に並ぶパンは約30種類。メニューはスタッフの「やってみたい」からアイデアが生まれます。メニューを考える上で大切にしていることは、旬の食材を使うこと。新作をつくり続けて常にラインナップを変えています。ちまたで話題になったことをパンで表現することもあります。例えば、平成パンと令和パン、パンドパン、店内で個展を開いた作家のオリジナルキャラクターとのコラボパンなど、自由な発想で見ているだけでも楽しくなります。 旧日光街道や越ヶ谷で 挑戦する人を応援したい



▲店内の様子 白と茶をベースにした落ち着いた雰囲気



▲取材時、販売していたハロウィンパン ▲IC803「だるまアート」

長く続けてみんなの思い出に残るカフェでありたい いろいろな人のアイデアで作りに上げてきた、良い意味で「こだわりがない」カフェ。「店を長く続けるためには、状況に合わせて変化していくことです。人々の生活に寄り添い居心地よく使ってもらい、それが思い出の1ページに残ったらいいなあ」井橋さんは願っています。 カフェの名前の由来は、ぜひスタッフに聞いてみてください。お客様から話しかけられることで始まるコミュニケーションが新たなつながりを生むのです。 店内にある「IC803」と書かれた大きな黒板には、町中の情報が。春には桜の開花状況、夏には祭りの情報など一年を通してさまざまな情報を得ることが出来ます。向かい側の黒板には店内で行うイベントの情報がびっしりと書かれています。



▲カフェの入口にある看板

お問い合わせ先 CAFÉ803 〒343-0813 越ヶ谷市越ヶ谷3-3-16 TEL:048-965-1803 H P:https://www.cafe803.com



▲体験を楽しむ子どもたちと 展示を閲覧する来場者の皆さん



▲一般社団法人 多文化共生コスモ越谷 (展示)



▲越谷市手話サークルよつば会 (手話体験)



▲埼玉東萌美容専門学校 (ヘアアレンジ体験)

第12回 ななサポまつり

ななサポまつりって？

な ななサポまつりとは、越谷市内で活躍する市民活動団体や地元企業と市民をつなぐおまつりです。日頃の成果と活動報告を披露するイベントとして「ななサポまつり」と「協働フェスタ」の二つの祭典が、9月9日に初の同時開催を果たしました。

ななサポまつりでは越谷駅前出店に25団体、ステージに16団体、内部展示・体験コーナーに24団体、合計65団体が参加しました。また、今年度は4500人の来場者が訪れ、子どもからお年寄りまで、様々な年代の方の交流が盛んにみられました。

台風が日本に停滞し、開催も危ぶまれましたが、当日は小雨から快晴に変わり、会場の越谷駅前・支援センターともに大きなにぎわいをみせました。



▲コバトンとさいたまっちゃんが遊びにきたよ



▲ステージ出演後に 魚釣りゲームを楽しむ子どもたち



▲現代版組踊 チーム息吹 体全体を使ったキレイのある組踊を披露



▲YOSAKOI桜美輪 ダイナミックな応援旗の動きを背景に、軽やかにリズムを刻み踊る

どんなことをしたの？

越 谷駅前の出店では、武蔵野うどんやたこ焼き、ケバブなどを提供する屋台のほか、さをり織りやアロマオイル、アパレルなどのフリーマーケットなどが立ち並びました。ロータリー中心部の子どもスペースでは割りばし鉄砲の工作体験やヨーヨー釣りが行われ、元気な子どもたちの声が聞こえました。

ガーヤちゃんの蔵屋敷前の特設ステージでは、子どもたちによるダンスやフラメンコ、ご当地アイドルのライブや現代版組踊、よさこい踊りなどの多彩な演目により、会場が盛り上がりました。

また、市民活動支援センターでは床に敷いた囲碁盤によるふれあい囲碁や、卓上のカーリングと言われる「カーレット」の体験、射的やバルーンアート、ハンドセラピーや手話体験など、参加団体と来場者との間で交流がみられました。

越谷市市民活動支援センター 今後の予定

クリスマスイベント2023

開催日 令和5年12月17日(日)

午前の部

おともサークル
「Rhyme」の演奏
10:30~11:30
【申込受付開始】
12月2日(土)9:00~

午後の部

ALL SWING JAZZ ORCHESTRA
によるコンサート
16:00~17:30
【申込受付開始】12月9日(土)9:00~

各部開場時間は開演30分前~になります。

第7回新派つるし雛inななサポ

皆さんの活動をつるし雛でPRしてみませんか。

【作品募集期間】
令和6年1月15日(月)~2月10日(土)

【作品展示及び観覧期間】
令和6年2月12日(月)~3月3日(日)

詳細はセンターHPをご覧ください

編集後記

行きつけの店をつくりたいと思っていて、私にとってCAFEB803はピタリです。今日ほどななパンが並んでいるかな、イベントはやっていくかな、と楽しみにしている月に1回行きたいですね。黒板もじっくりと見たいです。(須田)

今回は4面ななサポまつり報告記事を担当しました。まつり当日はステージ管理という大仕事を任せられ、正直自分に出るかな不安でしたが、周りの人が支えてくださり大成功に終わりました。次回も楽しみにしています。(二橋)

越谷市市民活動支援センター アクセスマップ

編集: ななサポ編集チーム(阿部、成清、木田、須田、二橋)
本紙は、越谷市市民活動支援センター登録団体および市民編集委員のみなさまにご協力いただき、編集・発行しています。

越谷市市民活動支援センターとは？
平成24年6月にオープンしたNPOをはじめとする公益活動を行う市民や団体、ボランティアなどを支援する施設です。指定管理者「アイル・オーエンスグループ」が管理運営しています。

UD FONT 機関紙ななサポでは、見やすい読みやすいユニバーサルデザインフォントを一部使用しています。

社会福祉法人 天恵園

笑顔をお届けよう!

障害のある方が笑顔で暮らしていく社会を目指していきます

居宅介護・同行支援・行動支援・移動支援・生活サポート
保育所等訪問支援・児童発達支援・福祉有償運送
児童発達支援/児童発達支援(医ケア児対応)

☎048-984-7000
越谷市大里729番地1

特定非営利活動法人 合

障がいを持つご利用者さまとご家族が心、豊かに暮らす相談やお手伝いをします

児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護・短期入所グループホーム・日中一時支援・福祉用具販売・レンタル相談支援事業・埼玉県委託療育事業・越谷市委託相談支援事業
居宅介護・行動支援・生活サポート

☎048-978-6449
越谷市大里729番地1

重症児者(医療的ケア)も対応いたします

「月刊ニュースレターかけはし」登録受付中!
毎月1回、越谷市市民活動支援センターと中央図書室の情報をお届けしています。

どんな情報が届くの?

- 越谷市市民活動支援センターと中央図書室のお知らせ
- 主催イベントや講座の開催情報
- センターに登録している市民活動団体の情報 など

■詳しくは当センターHPをご覧ください

広告募集

機関紙ななサポでは、越谷の市民活動を応援していただく企業/団体様の広告を募集しております。掲載をご希望の方は越谷市市民活動支援センター「機関紙ななサポ広告担当」までお問い合わせください。